

39歳の松永正勝神父が帰天した。仮通夜で大司教館のチャペルに安置されている姿を見て、「本当に、本当なのか？」と自問自答した。年下の司祭を見送らなければならぬのは胸の張り裂ける思いだった▲通夜が浦上教会の信徒会館で行われ慣例に従って翌朝までの徹夜のミサに時間を申し込んだ。夜中の3時半から4時までの時間を選んで、ミサをささげることにした。彼は、何を残していったのだろうか。彼は司祭として、今何を示そうとしているのだろうか。いろんなことを考えてしまい、ミサの時間まで眠れなかった▲考えた挙げ句、聖骸布の展示会と講演のことを思い出し、説教を次のようにまとめ

で聖骸布ではないでしょう。うか。聖骸布は、イエスの姿を写し取ったものだといわれていますが、司祭もまた、イエスの姿を写し取っているからです。もちろん、完全な写しではありません。理解が足りない部分もあるし、司祭の個人的な欠点のために、イエスの姿を反映で

カトリック長崎大司教区
大司教 高見 三

「司祭になりたい」と、
立ち上がってくれる人が
現れるよう切に祈る。

(K・N)

初夏の雲仙殉教祭



5月15日初夏の好天に恵まれて、恒例の雲仙殉教祭が開催された。会場となった雲仙メモリアルホールは、2000人近い参加者でいっぱいとなり、ミサに続いて行われた殉教記念碑までの行列も長蛇の列となった。ミサの前には、時津教会の子供たちが鷹島の殉教と小教区の目標である「ぼくたちは家族(ひとつ)」という標語を紹介し(写真)、会場から大きな拍手をもらった。ミサの説教をした尾崎明夫師(オプス・デイ)



痛を受けても信仰を守る方が大切だと行いをもつて教えてくれます。どうか、皆さま、時々ご自分で静かに考えください。どんな犠牲を払っても守る価値のあるものはあるか。今大切と思っていることは本当に大切なのか。その答えを得るのに参考になるのが殉教者たちの行動です。最近の大震災で、日本人は忘れていた大切なものを取り返しているといわれますが、信仰の面でも大切なものに気がきますように。そして最後に、殉教者に感謝して、もっと深い信仰生活を心掛けるようにと結んだ。

(カトリックセンター) 同行のもと巡礼を行った。殉教者たちが上陸したという石合海岸から山道を登り(写真)、小浜資料館まで約1時間半かけて歩き殉教者をしのんだ。



2011統一地方選挙・市議当選者

※()は所属教会

〈県議〉
深堀 浩 長崎市(浦上)
溝口 芙美雄
佐世保市 北松浦郡(大崎)
西川 克己 平戸市(紐差)
馬込 彰
南松浦郡(青砂ヶ浦)
〈市議〉
深堀 義昭 長崎(浦上)
吉村 正寿 長崎(西町)
五輪 清隆 長崎(浦上)
鶴田 誠二 長崎(滑石)
中村 俊介 長崎(浦上)
里脇 清隆 大村(植松)
山北 正久 大村(植松)

教区シノドス 2011年度は小教区レベルで話し合い

2014年に開催する教区代表者会議(教区シノドス)について、その開催要綱案が4月25日の教区顧問会において全会一致で承認された。顧問会では、「教区シノドスに参加しない一般の信徒や司祭、修道者たちが最後までかわわていくことができる仕組みをつくるべき」各小教区での会議のためには準備が重要となる」など、今後話し合いを進める上で考慮し、取り組んでいかねければならない点についての意見も出た。

とは「教区共同体の全体の善益のため、教区司教を助けることを目的として選出された部分教会(教区)の司祭及びその他の信者の集会」(can.460)のことである。言い換えると、教区共同体全体が、司教の司牧に参与し、皆が交わる場である。この会議は、教会法第460条、468条に則って開催される。

新され、新しい出発をするための確かな足がかりをつくりたい。そのために、代表者会議を開催して、これまで推進してきた「参加し、交わり、宣教する教会」づくりを視野に置きながら、「これからの長崎教区をどうするか、という大きな問題について、司教を中心にして教区全体で考え、知恵を出し合って、具体的な方向づけを決める。」

第2条 2015年3月17日に「信徒発見150周年」を迎える。わたしたち長崎の教会の一人一人とすべての共同体が、この機会を生かして、信徒発見に至るまでの歴史とその後の教会の歩みを振り返るだけでなく、聖霊の導きによって感謝の祭儀(ミサ)を生活全体の源泉とし頂点とすると同時に、神のこころを朗読し分かち合い生活で生かすことによって内面から刷新される。

2 場所は、大司教館とする。
(準備の期間と方法)
第11条 代表者会議の準備と期間は以下の通りとする。
2 第1段階(2011年度)・各小教区評議会、各種団体(教区諸委員会、各修道院、婦人会、各種共同体、ピンセンシオ・ア・パウロ会、レジオ・マリエ、福祉団体など)で話し合い、まとめを地区組織及び事務局に提出する。また、記念事業実行委員会を設置し、次のことを行う。

墓地・納骨堂 分譲中
高尾・本原・石神・江平・坂本 他
現地ご案内致します

なが さき せき ちょう
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 博明
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル
☎(095)862-2469

教区評議会 総会

長崎教区評議会の2011年度総会が、各小教区・地区評議会、各団体の代表者約130人の参加のもと5月3日カトリックセンターで開かれた。午前の部は10年度決算報告と聖書愛読マラソン大会や地区・団体の活動報告があり、11年度の活動方針・計画・予算が審議、承認された。また2014年に開催予定の長崎教区代表者会議(教区シノドス)開催要綱案が、小瀬良 明事務局長から説明された。



午後のは、長崎教区組織見直しについて高見三明大司教が説明。続いて、東日本大震災被災地の現状を福音化推進部の紙崎新一部長が報告、長崎教区にサポートセンターを立ち上げる計画については古木眞理一事務局長から話がいった。

て、東日本大震災被災地の現状を福音化推進部の紙崎新一部長が報告、長崎教区にサポートセンターを立ち上げる計画については古木眞理一事務局長から話がいった。

【教区評議会】

会長 高見三明大司教
副会長 小島 栄浦上
事務局長 小瀬良 明
(教区本部) 事務局次長 古木眞理一(教区本部) 議長 松尾 勝長
(教区本部) 副議長 岩崎静一(長崎南) 山内茂雄
(佐世保) 書記 黒崎勝郎(長崎北) 初田博富

神ノ島岬の聖母祭 潮騒の中で聖体拝領

5月1日12時、神ノ島教会(川口昭人主任神父)は岬の聖母祭航海安全祈願・高鈴島殉教記念をドングウ岩の海岸で行い、約150人が参加した。かつて神ノ島の漁師たちは生活の糧を求め遠くは五島・対馬の沿岸まで漁に出ており、海難



ンクリート製で高さ1・7メートルだった。現在は1984年10月完成で高さ4・7メートルの4月着任した川口神父は説教の中で、「歴史ある神ノ島教会で特にこの聖母祭を大事にして、歴代の神父・信徒の思いを受け継いでいく」と話した。

でいきたい」と語った。ミサに参加した女性信徒は「子供たちの花まきを見て当時の自分を重ね合わせ、とてもなつかしく思った。聖母祭はずっと続けていってほしい」と話した。

マリヤ像が建つドングウ岩。岩の格好がドングウ(カエデ)に似ているところからそう呼ぶようになったが、ここには鳥居が建ち(写真)、えびすさまの石仏4体が祭られている。町の長老に話を聞くと、マリヤ像が建つ前に神ノ島1丁目に神社があり、大漁・航海安全を願いに祭ったそう。マリヤ像と4体のえびすさまが共存する珍しい場所である。

第3段階(2013年度)・教区代表者会議を直接準備する。教区評議会、教区経済評議会、司祭評議会、教区修女連、教区連合婦人会で協議し、教区顧問会で最終的に教区代表者会議(教区シノドス)の議案を決定する。

第9回 聖書愛読マラソン大会
今年度は7月からラソン大会実行委員会が企画する今年度の同大会は、「福音書を読み進めていくことによって聖書に親しみ、神のみことばを糧に新たな人間になる」という目標のもと、次の通り実施する。

【実施方法】
①朗読対象箇所：4福音書を含む新約聖書全体。

各小教区で朗読箇所を選択して読み進めていく。②実施期間：2011年7月10日(日)～2012年2月29日(水)。開会式は7月10日に行う。また、「聖書愛読マラソン」に代わるふさわしい名称を募集する。各小教区で候補作1点を選定し、10月30日(日)までに教区評議会に提出、候補作の中から教区評議会役員会において1点を選考する。選考後は、選考された名称を使用する予定。



主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町 7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

交通誘導警備 常駐警備 イベント警備

(有) 小田警備保障

警備員募集!

電話 095-856-6524 FAX 095-856-6523

長崎市横尾 3丁目 31-15 代表取締役 パウロ 小田 睦

さくらの里聖家族教会に「十字架の道行」を創設

4月17日 受難の主日、滑石小教区は11時半からさくらの里聖家族教会で約100人が参加し、十字架の道行の祝

同教会の敷地を生かし十字架の道行とルルドをつくりたい——というかねての希望から、今回は道行の創設が実現。中村満主任神父によって祝別された道行の碑は、裁判所に見立てた司祭館そばの第1留に始まり、教会を囲むように建てられ第14留まで、20を超え木製の十字架(横1.9メートル縦4.1メートル)2本を男女がそれぞれ担ぎ、各留を皆で交代して運んだ。運んだ十字架は第12留のところに、聖霊降臨の主日(6月12日)までの期間据えらる。十字架を担ぐことにより、より深くキリストの受難を黙想する機会となった。



永井隆博士(1908〜51年)の帰天からはや60年。命日である5月1日に、長崎原爆資料館ホールで「永井隆 平和のつどい みんなの音楽祭」が開催された。会場には約330人が集まり、音楽を通して平和を願う気持ちを新たにしました。長崎如己の会主催。「伝えたい、隣の人にこ

帰天から60年 永井博士の命日に 平和の集い



の気持ち。わがりたい、隣の人のその気持ち」をテーマに、隣人愛による平和実現を希求した永井博士の精神を受け継ぐと開かれたこの音楽祭。冒頭で東日本大震災の被災者への黙とうをささげた後、市内を中心に活動する7団体が、平和への願いが込められた曲やメッセージを選び、歌や踊り、演奏、朗読を披露。訪れた人々は皆熱心に聴き入っていた。

クルシリヨに 14小教区から21人参加

第127回クルシリヨは5月1日夕方から4日までイエズス会立山修道院で、指導司祭中村倫明師のもとに14小教区から21人(男性9人、女性10人、道女2人)が参加して開催された。

26〜81歳の家族的雰囲気の中、教区の方々の尊い祈りと犠牲、神さまの

全国各地で同じ日時、同じ典礼で皆で心を合わせてささげるミサ

第5回あっちこっちミサ

2011年6月26日(日)15時
長崎は中町教会で開催します

HP acchikocchi-mass5@mail.goo.ne.jp
主催 NWMあっちこっちミサプロジェクト
後援 カトリック青年連絡協議会

新刊良書

★平和の使徒 ヨハネ・パウロ二世 ―希望と愛をたずさえて―

第264代ローマ教皇として世界各国を歴訪し、戦争や暴力に勇気ある反対の声を上げ、すべての人間の尊厳と人権の尊重を訴え続けられたヨハネ・パウロ二世。

1981年の来日では、寝食の時間を犠牲にして日本語を勉強され、心のこもったスピーチをしてくださった。その生い立ち、愛と勇気の言葉を通して、前教皇の人間的魅力と信仰の強さを伝える。

列福記念として出版。著者はヨハネ・パウロ二世によって受洗、長崎在住。ドン・ボスコ社、777円。

巡回教会めぐり ⑥

鯛ノ浦小教区

船隠教会

相次ぐ災害を経てついに完成



その工事相次ぐ土砂崩れなどの災害に見舞われ、中断されたこともあったが、1956年(昭和31)ついに信徒たちの努力によって現在の教会堂が完成し、山口大司教によって祝別、献堂された。緑豊かな山並みを背に、潮騒の音と共に、赤い屋根と白い壁が見事に調和した教会堂である。

頭ヶ島教会 別名「花の御堂」

1867年(慶応3)ドミンゴ森松次郎一家が迫害を逃れて鯛ノ浦から移り住み、住家に青年伝道師養成所と仮聖堂を置いて、クザン師を迎えて

1910年(明治43)大崎八重師の指導により工事に着手。1917



1865年(慶応元年)中野浦から佐野原盆地に移り住んだ中谷惣八一家がこの地の教会の先祖だといわれている。長らくこの中谷家を家御堂として利用していたが、1950年(昭和25)当時の佐野原青年団が土地を購入し、小さな仮聖堂を建立した。

しかし、その10年後には仮聖堂も老朽化が進み、1963年(昭和38)当時の鯛ノ浦小教区主任であった浜口健市師と信徒たちの奔走のかいあって今日の教会が建てられ、山口愛次郎大司教によって祝別、献堂された。

現在、30近くの世帯が

エメレンチアナ

石橋純子修道女



4月12日、ロザリオの聖母修道院にてパーキンソン病のため帰天。83歳。1927年、諫早市生まれ。信仰の家庭で養育されたが原爆で家族の多くを失った。45年入会。48年初誓願、58年終生誓願宣立。

初誓願宣立後、約30年間、東京・名古屋・広島など各地で幼児教育に携わり、持ち前の明るさと熱意をもって積極的に活動した。二十数年前からパーキンソン病を患い、

王子)の事務会計を15年間担当、穏やかな笑顔で人々に接していた。手先が器用で、レースの編み物などたくさんの手芸品を製作して周囲の人を喜ばせた。

し、不自由な状態の中でも穏やかな笑顔と静けさのうちに奉獻者としての道を全うした。

葬儀ミサ、告別式は同日、修道会本部聖堂で行われた。

チェロンナ

古川トミ子修道女



4月27日、長崎大学付属病院にて非閉塞性腸管虚血のため帰天。77歳。1933年、長崎市生まれ。60年入会。62年初誓願、70年終生誓願宣立。中学、高校生時代から病気がちで入院を繰り返

していたが、いつも明るく前向きに奉仕した。初誓願宣立後は神崎支部の保育所や恵の丘養護老人ホームの事務会計に携わり、ときわ荘の園長など務めた。

東京純心女子学園(八

を信仰のうちにささげ、入院中も出会う人への思いやり、優しい言葉掛けなどを通して宣教した。

29日、修道会本部聖堂で行われた。



2002年以降、2〜3年に一度開かれてきた「あっちこっちミサ」。5回目の今回は6月26日(日)

に近い日曜日に決まった。「別々の場所にいる青年たちがつながっていくことがこのミサの目的。大事にしたい」。9教区が参加、そのうち福岡と長崎両教区の青年たちは

第5回あっちこっちミサ

実行委員会代表 田川雄三さん



中町教会と一緒にミサをする。全体では、地震被災地のための霊的花束も準備する予定だ。

第5回あっちこっちミサ実行委員会の代表を務める傍ら、長崎南地区青年会会長としても3年目。教会と仕事との時間

りました。何か返したい。青年活動はいろんなことを学べる場。好きなようにさせてもらえる中で、さまざまな知識や責任感を養う。しかし、楽しむことが第一だとも思います」

青年当事者というより、活動の流れをつくる協力者のつもりでかか

被爆者証言の航海——前編

ポーランド・アウシュビッツ

あきら
深堀 柱 (城山教会)



船内での証言

「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」——広島・長崎の被爆者(2世を含む)9人は、この1月23日から4月18日まで横浜港発着86日間、ピースボート(地球一周をコーディネートする国際交流NGO)に乗船し、船内をはじめ、13カ国14都市で証言活動を行った。寄港地では、小・中学校、大学、国連欧州本部など現地NGOの協力を得て証言のほか原爆写真

展なども開き聴衆の足を止めた。深堀の証言。出港4日目、乗船する船内で、寄港地では3月10日、ポーランドのクラクフ(コルベ師が聖母の騎士誌を創刊した地)、4月13日は最後の寄港地マニラで行った。クラクフではアウシュビッツ収容所の元囚人93歳になるブラッセさんが証言した。同氏は記録係として収容所で働き、死ぬ運命にある友人、コ



コルベ師を知るブラッセさん(右)



コルベ神父

ルベ師らの写真を撮らなければならぬというさなと語った。

深堀は旧制中学4年、15歳のとき、動員先の長崎市茂里町の三菱兵器工場から伝令で走らされ長崎消防署のペランダで被爆、爆風で約3メートル吹き飛ばされ、しばらく失神していた被爆直後の状況を導入に、遺体を焼く防空壕生活などを語った。聞き手は地元の高校生など若者。通訳は日本語、英語、ポーランド語の3カ国語。いかにセンテンスを短く分かりやすく話すか、厳しい証言だった。でもコルベ神父を知る証言者と同席し、その喜びと感動は今も消えない。

アウシュビッツ、ビルケナウ強制収容所は3月10、11日の2日間見学した。信徒から託された千羽鶴(3千羽)、特別の許可でカルメル修道会(観想)のミサにあずかり、司祭の祝福を受けてアウシュビッツ収容所に持参した。薄暗いコルベ師の牢には千羽鶴を押し込め、む形でさげ、コルベ師が生活した長崎市の修道院構内に咲く花、一輪を頂き押し花にしたもの。また、千羽鶴で折った珍しい「ロザリオ」も一緒にささげた。



収容所内の博物館——人間が人間の命を極限まで追い込み虐殺した写真のほか、窓越しに焼却炉、毛髪などの遺品を離れる際、棟の庭先から土を少量持ち帰った。コルベ師に里帰りしてほしいとの思いだが、聖コルベ記念館にその経過を話し、土の処理を相談したい。土の一部は深堀の家庭祭壇にもささげた。い。上の写真は、コルベ師の牢にささげた千羽鶴とキクの花の押し花) 8月号に続く

も見え平和構築の大切さを意識した。収容所の見学者は、年間約100万人。入場者はポーランド、アメリカ、イギリス、イタリア、ドイツの順。わたしは収容所を離れる際、棟の庭先から土を少量持ち帰った。コルベ師に里帰りしてほしいとの思いだが、聖コルベ記念館にその経過を話し、土の処理を相談したい。土の一部は深堀の家庭祭壇にもささげた。い。上の写真は、コルベ師の牢にささげた千羽鶴とキクの花の押し花) 8月号に続く

ド・ロさまの青いお茶

自然の恵みを感じつつ一番茶摘み



5月4日、長崎
市西出津町

にあるド・ロ神父ゆかりの茶畑で一番茶の茶摘みがあり、100余人の参加者によって青々と育った茶葉が収穫された。

ド・ロ神父遺跡を活用する部会「ド・ロさまの家事務局」が昨年に引き続き茶摘み呼び掛け。参加者は地元や各地からとさまで、晴天の里と自然の恵みを感じながらひとつひとつ丁寧に茶葉を摘み取った。2日間の収穫は生葉約60kg。

ことを知っていた「ド・ロさま」と、旧出津救助院とド・ロ神父遺跡を活用する部会「ド・ロさまの家事務局」が昨年に引き続き茶摘み呼び掛け。参加者は地元や各地からとさまで、晴天の里と自然の恵みを感じながらひとつひとつ丁寧に茶葉を摘み取った。2日間の収穫は生葉約60kg。

参加者は、「ド・ロさまのお茶の木から茶摘みをするので、より身近に感じられる。お茶ができたらずいぶん飲んでみたい」と話した。製茶された茶葉は今後「ド・ロさまの青いお茶」として事務局で販売される。問い合わせ・申し込みは、TEL09559(25)1002まで。

参加者は、「ド・ロさまのお茶の木から茶摘みをするので、より身近に感じられる。お茶ができたらずいぶん飲んでみたい」と話した。製茶された茶葉は今後「ド・ロさまの青いお茶」として事務局で販売される。問い合わせ・申し込みは、TEL09559(25)1002まで。

参加者は、「ド・ロさまのお茶の木から茶摘みをするので、より身近に感じられる。お茶ができたらずいぶん飲んでみたい」と話した。製茶された茶葉は今後「ド・ロさまの青いお茶」として事務局で販売される。問い合わせ・申し込みは、TEL09559(25)1002まで。

参加者は、「ド・ロさまのお茶の木から茶摘みをするので、より身近に感じられる。お茶ができたらずいぶん飲んでみたい」と話した。製茶された茶葉は今後「ド・ロさまの青いお茶」として事務局で販売される。問い合わせ・申し込みは、TEL09559(25)1002まで。

マルコ1章17節
「わたしについて来なさい。私は「大男」です。現在、身長180センチ。体重100キ。子どものころから私は大きい方でした。そんな私が「神父さまにならないうか」と呼び掛けられたのは、ある神父さまのひざの上でした。その神父さまはいつもニコニコ笑っている神父さまでした。侍者なりたての私はよく失敗し、とても怖かった主任神父さまに怒られてばかりでした。「神父さまというの怖くて威厳がある方」そのイメージを壊してく

れ、教会に行くのが楽しくなったのが、優しい笑顔の神父さまと出会ってからです。

加者によって青々と育った茶葉が収穫された。ド・ロ神父遺跡を活用する部会「ド・ロさまの家事務局」が昨年に引き続き茶摘み呼び掛け。参加者は地元や各地からとさまで、晴天の里と自然の恵みを感じながらひとつひとつ丁寧に茶葉を摘み取った。2日間の収穫は生葉約60kg。

加者によって青々と育った茶葉が収穫された。ド・ロ神父遺跡を活用する部会「ド・ロさまの家事務局」が昨年に引き続き茶摘み呼び掛け。参加者は地元や各地からとさまで、晴天の里と自然の恵みを感じながらひとつひとつ丁寧に茶葉を摘み取った。2日間の収穫は生葉約60kg。

加者によって青々と育った茶葉が収穫された。ド・ロ神父遺跡を活用する部会「ド・ロさまの家事務局」が昨年に引き続き茶摘み呼び掛け。参加者は地元や各地からとさまで、晴天の里と自然の恵みを感じながらひとつひとつ丁寧に茶葉を摘み取った。2日間の収穫は生葉約60kg。

加者によって青々と育った茶葉が収穫された。ド・ロ神父遺跡を活用する部会「ド・ロさまの家事務局」が昨年に引き続き茶摘み呼び掛け。参加者は地元や各地からとさまで、晴天の里と自然の恵みを感じながらひとつひとつ丁寧に茶葉を摘み取った。2日間の収穫は生葉約60kg。

加者によって青々と育った茶葉が収穫された。ド・ロ神父遺跡を活用する部会「ド・ロさまの家事務局」が昨年に引き続き茶摘み呼び掛け。参加者は地元や各地からとさまで、晴天の里と自然の恵みを感じながらひとつひとつ丁寧に茶葉を摘み取った。2日間の収穫は生葉約60kg。

加者によって青々と育った茶葉が収穫された。ド・ロ神父遺跡を活用する部会「ド・ロさまの家事務局」が昨年に引き続き茶摘み呼び掛け。参加者は地元や各地からとさまで、晴天の里と自然の恵みを感じながらひとつひとつ丁寧に茶葉を摘み取った。2日間の収穫は生葉約60kg。

みことばにふれて

山口竜太郎神父
(水の浦教会)



カット・窄口なごみさん(高井旅教会、小2)

このまま司祭になっていいのだからかと思ひました。幼なじみの誓願式で十数年ぶりにあの神父さまに出会いました。うれしさと懐かしさの中で、あんなに私に話しかけてくれた神父さまが、私の人生に大きな影響を与えてくれたことに気づきました。大きな恵みです。前回の黙想でのご報告

このまま司祭になっていいのだからかと思ひました。幼なじみの誓願式で十数年ぶりにあの神父さまに出会いました。うれしさと懐かしさの中で、あんなに私に話しかけてくれた神父さまが、私の人生に大きな影響を与えてくれたことに気づきました。大きな恵みです。前回の黙想でのご報告

このまま司祭になっていいのだからかと思ひました。幼なじみの誓願式で十数年ぶりにあの神父さまに出会いました。うれしさと懐かしさの中で、あんなに私に話しかけてくれた神父さまが、私の人生に大きな影響を与えてくれたことに気づきました。大きな恵みです。前回の黙想でのご報告

このまま司祭になっていいのだからかと思ひました。幼なじみの誓願式で十数年ぶりにあの神父さまに出会いました。うれしさと懐かしさの中で、あんなに私に話しかけてくれた神父さまが、私の人生に大きな影響を与えてくれたことに気づきました。大きな恵みです。前回の黙想でのご報告

このまま司祭になっていいのだからかと思ひました。幼なじみの誓願式で十数年ぶりにあの神父さまに出会いました。うれしさと懐かしさの中で、あんなに私に話しかけてくれた神父さまが、私の人生に大きな影響を与えてくれたことに気づきました。大きな恵みです。前回の黙想でのご報告

マルコ1章17節
「わたしについて来なさい。私は「大男」です。現在、身長180センチ。体重100キ。子どものころから私は大きい方でした。そんな私が「神父さまにならないうか」と呼び掛けられたのは、ある神父さまのひざの上でした。その神父さまはいつもニコニコ笑っている神父さまでした。侍者なりたての私はよく失敗し、とても怖かった主任神父さまに怒られてばかりでした。「神父さまというの怖くて威厳がある方」そのイメージを壊してく

やがて新しい助任司祭が来られ、神父さまと会う機会がなくなりました。います。ところが数年後、叔母シスターの誓願式の

やがて新しい助任司祭が来られ、神父さまと会う機会がなくなりました。います。ところが数年後、叔母シスターの誓願式の

やがて新しい助任司祭が来られ、神父さまと会う機会がなくなりました。います。ところが数年後、叔母シスターの誓願式の

やがて新しい助任司祭が来られ、神父さまと会う機会がなくなりました。います。ところが数年後、叔母シスターの誓願式の

やがて新しい助任司祭が来られ、神父さまと会う機会がなくなりました。います。ところが数年後、叔母シスターの誓願式の

やがて新しい助任司祭が来られ、神父さまと会う機会がなくなりました。います。ところが数年後、叔母シスターの誓願式の

やがて新しい助任司祭が来られ、神父さまと会う機会がなくなりました。います。ところが数年後、叔母シスターの誓願式の

ショートステイサービス 有料老人ホーム **エルフ山の手**
～平成23年10月 長崎市戸町にオープン予定～
施設長 ペトロ 村川 啓一郎
職員募集中です。詳しくは **エルフ山の手** 検索
お問い合わせ ☎095(826)5657

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付 白蟻防除施工士
大田白蟻研究所
代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
☎長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8436

墓地改修・新設 個人のご相談も承ります
実績 城山教会墓地 飽の浦教会墓地
浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数
(有) **長崎大理石** 社長 ヨハネ 濱本直行
本社 長崎市つづじが丘5-1-15 (TEL)095-839-0374
加工工場 諫早中核工業団地

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売
たつみ産業株式会社
西田商事株式会社
代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

映画上映のお知らせ(会場:カトリックセンターホール)
①「GATE」(104分) マットティラー監督
6月26日(日)11時～
※入場無料。会場でアメリカでの「GATE」無料上映のための寄付金を募ります。
①問合先・担当 神田千草 (TEL)080-1736-1954
②「ひめゆり」(130分) 柴田昌平監督
6月26日(日)14時～
2007年日本カトリック映画賞受賞作品。入場無料。
③「HIBAKUSHA—世界の終わりに」(117分)
鎌仲ひとみ監督
7月24日(日)13時30分～
2003年日本カトリック映画賞受賞作品。監督の講演と映画上映があります。入場料1,000円。
②③問合先・カトリックセンター宿泊部
(TEL)095-846-4246